

20220407

地域協議会会長 意見交換会 まとめ

#### □全体的に・・・□正副委員長案へのNGなど

- ・自主的審議、課題の把握、課題の解決…情報収集…、自分たちでやれる力がもつともっと必要だ（滝沢宮越班）
- ・「予算の目的のために～」削除せよ（滝沢宮越班）
- 総務の提言書は全体として理解できない（八千浦）
- 前回地域協議会が有識者たちとの会議で出した提言書をしっかりと検証しているのか（八千浦）（以下、江口宮川班）
- 地域協議会の不透明感がある。やる気をなくしている。（直江津）
  - ・（大 島）地域協議会は地域のミニ議会のようで確信がもてない。
  - ・（柿 崎）できた当時は議会に変わるような形として地域協議会が設けられたように聞いている。
  - ・行政ができないことを地域協議会に押し付けられている感がある。（池田単独）
  - ・地域協議会について議員も総合事務所もわかっていない。公募公選制でゆるやかな拘束力がある。（池田栗田班）

#### □地域活動支援事業について

- ・やめることに賛成 公金の審査をする理由はない（滝沢宮越班）
- ・地域活動支援事業は分捕り合戦だ（〃）
- ・分捕り合戦とは言わないが、自分たちの出来る事に絞り込んでやる必要があった。（〃）
- ・地域活動支援事業の中止と事業採択の可否は行政が行うという判断の変更についてどう思いますか。 ○が0/6 ダメ （以下、江口宮川班）
- 活動支援事業は残すべきでありそれが地域を考える唯一のものでないか。小さな地域はこれが無ければ何もできなくなる。
  - ・地域支援事業が廃止されても昔の要望政治にならないように、地域支援事業的な地域の予算枠は残し主体的な自治が出来るようにすべき。（八千浦 仲田元市議）（宮川単独）

(以下、高山橋爪班)

( 牧 ) 二次募集することがなかったが、昨年比例配分で要求金額が採択で少なくなってしまったのは反省している。採点方法を見直し事業に活かしたい。

( 柿 崎 ) 支援事業は R4 で打ち切りし独自予算としている。確かに今まで支援事業と自主的審議の両方やるのは大変だったのでよいと思うが、協議会の存在を知らしめる役割がなくなってしまうのではないかと、住民との隔離がおこるのではないかと危惧する。

(大 島) 賛成 4、反対 5 支援事業は今まで事務局とともに頑張ってきた。採択は負担ではない。検証が不十分である。今後については、経費をもっと多くして欲しい。地域に還元されるものにして欲しい。活動のしようがない。などの意見があった。

( 牧 ) 支援事業は有意義であったが、問題点は解消されず終わってしまった。備品の購入は市の予算で行うべき事業が支援事業で行われてきたという現状があり、今後どうなるのか具体的なことが不明であり、確認していきたい。

(安 塚) 委員が採点するのか？と言う感じはあったが、皆さん一生懸命今までやってきた。やなぎばひまわり事業は大人から子どもまで 300 人～400 人くらい集まりできた事業であり、文化顕彰にもなった。私としてはとてもよい事業だったと思う。

市長が変わり今後は事業計画としてやる、と言うように聞こえるが、即効性のあるものとは違うのではないかと、計画しても採択してもらえないのか分からない。公平性に欠けるのではないかと思う。

( 頸 城 ) 支援事業の廃止について代案がない。今後どうなるのか全く分からない。長く続いてきた事業なので、市議会からも行政に伝えて欲しい。

( 浦川原 ) 地域の活性化に非常に役立った事業であったと思う。楽器はトータル 550 万くらいかけて揃えた。部活は校外という教育委員会の見解はどうか。計画していたイベントが団体の都合でできず、別の用途で使わせて欲しいという意見もあったが、目的違いは駄目ということで再審査した。今後この事業がなくなったらどうする・・・という不安の声がある。

(大 瀧) 支援事業により自主的審議の役割を果たしていないと言われるが、旅館の方々、まちづくり大瀧他、日頃から他の団体と話し合いを持っている。村山さんの公約としてやってきたのに支援事業がなくなると困る。この事業はむしろ今後も続けて欲しいし、地域振興費として市民が使いやすいように予算化す

べき。資料内容を改めて欲しい。

( ? ) 13 区に対する当初割当金はどうなったのか？吸い上げられてしまい、無くなってしまったと感じている。

(以下、池田単独)

- ・見直しは良い、独自予算は自立した運営に資金として提供できるものとして。
- ・そもそも新市建設計画による地域事業費の審査でなかったのか、それが地域活動支援事業に化けた。
- ・2次、3次募集はめんどい、市で審査すべきだ。
- ・4年度で廃止となるが、市長より活動事業の中で残すものは通常予算で対応できるものは言ってもらいたいと、聞いている。
- ・活動支援事業に替わる地域独自予算と言われても、区では、例えば9月と言われても計画もなく対応ができない。

#### □地域自治区制度について

(以下、池田単独)

- ・人口減少、少子高齢化について小中学校を通じ子供たちが帰ってきたくなくなるような教育を望む。実践に向けた手立てが必要。
- ・行政（総合事務所）と市民の信頼関係が大事、例えば所長が変わったことにより変化が生まれた。
- ・総合事務所の集約の話がちらほらあるが、地域が輝くものを議論するのが先だ

#### □地域自治区／地域協議会の集約等について

○将来的に中学校区エリアを地域自治区としてのエリアとして考えなくてはならない時が来るのでないか（以下、江口宮川班）

○旧市の15区の区割りは考え直したほうが良い

○高田・直江津・春日三地区で良いのでないか

15区については3区程度の塊が良い。（八千浦 仲田元市議）（宮川単独）

・地域協議会の他にもいろいろな会がある。まちづくり振興会との合体にはキャパがオーバーするので反対。（池田栗田班）

#### □地域計画について

- ・第5次総合計画時のように市民が地域計画を立てるべきだ（滝沢宮越班）
- ・現、地域協議会の委員で将来ビジョンを作っていけると思えますか。○が2/6（江口宮川班）
- ・新市建設計画を見定めるためにできたのに6年で新市建設計画がなくなった。（池田栗田班）

#### □地域独自予算について

- ・地域独自予算はよいが、作る能力は地域協議会にはない（滝沢宮越班）
- ・旧市の15の区割りで今後良いと思えますか。（地域予算等を考えた時に今のエリアで良いですか）○が4/6（江口宮川班）
- ・地域協議会が作ったビジョンに対して「地域予算」を自分達で組めると思えますか。（他地域との中立性・公平性も考えて）0/6(組めない)（江口宮川班）
- ・地域ビジョンや地域予算を立てる時に地域を熟知した行政マンからサポートをして欲しい。○が6/6 必要（江口宮川班）
- ・(大島) まちづくりというテーマが難しい。住民との接点が難しい。

(以下、池田単独)

- ・清里では一農場化計画を持っているが地域独自予算に向けたビジョンづくりはできていない。早急にと言われても無理。（一部、櫛池地区将来ビジョン作成済み）
- ・プラン、ビジョン、地域計画を持っているところ、これからのところ、独自予算には間に合わないとの声が多い。
- ・独自予算は自主的に判断すればよいのでは。（予算が付かない場合も）
- ・市長のいう地域独自予算については期待しているが、間に合うかは疑問。（池田栗田班）

#### □諮問答申について

・行政からの諮問のあり方に問題あり。説明を十分できないときがある（滝沢宮越班）

・うちの協議会には諮問がない、なぜ？（〃）

・（浦川原）市長の諮問の在り方については問題がある。公の施設の再配置について、協議会でいくら言っても聞いてもらえない。廃止ありきで進むため不満を持っている。木田の市長に声が届いていないのではないか。（高山橋爪班）

・（柿崎）諮問もほぼ行政が決めたことを下ろしてくるだけ、意見しても通ることがない。地域協議会は行政にうまく使われているだけではないか。

#### □自主的審議について

・地域の課題解決に大切な取り組みだ（滝沢宮越班）

・地域協議会委員は地域自治・住民自治の意味が分かり自主審議をしていると思いますか。○が 4/6（以下、江口宮川班）

○これからの自主審議は市に対してきちんと意見書を付ける事が重要である（八千浦）

○自主審議も意見が出てこない。何か出しても金がないで終わってしまう（保倉）

○不活発であり全体としての方向性や目的自体がない、不活発、全体としての共通点がない（谷浜・桑取）

○役員は町内会長が中心、活動支援事業も3回までやる、自主的審議も少ない、（北諏訪区）

・八千浦は電力、保倉川放水路はじめ国県の課題が多く市の事業でない課題に何処まで注げるか難しい。（以下、宮川単独）

・高士は地域の核がなく審議が難しい。まちづくり振興協議会と連携。

・谷浜桑取は地区ごとの協議会があり対応。全体である地域協議会の審議が少ない

・（大湊）資料に言われているような協議会ではない。自主的審議事項は真剣に取り組んでいる。今後の支援事業について不明確で戸惑っているところがある。みんな同じベクトルで、まちづくりをなんとかしたいと思って進んでいる。

（以下、高山橋爪班）

・（浦川原）H22までは28区の中で一番自主的審議をしてきた。特に小学校の統合については、住民の顔色を伺いながら6年掛けて進めたが、教育委員会がス

ローもションで方向性が見えず疑問を抱いた。

・(安塚) これから住みやすい安塚を目指しアンケートを取り、その結果により区民(住民)と意見交換を行う予定である。今までこのような事を考えることがなかった。これからやっていく自主的審議事項で、発足当時に戻っていくのではないかと考えている。新しい人へのレクチャーも必要だったと思う。

(牧) 空き家問題を自主的審議事項にして話し合ったが、時間が足りず実態調査で終わってしまった。中郷区地域協議会との意見交換会をおこなったのはよかった。

長く牧区に住むためにはどうしたらよいか?ということで子供を持つ親御さんや振興会との意見交換会や、牧区でカフェやフライドポテトを販売する方々とも意見交換し有意義であった。これからも色々な方々と意見交換していきたい。

・(柿崎) 自主的審議事項は市長にあげても明確な答えがくることが殆どない。(2~4年かけて提言書を作成するが、回答はA4 1枚だけ、我々の提言書の重みがなくなっていると感じる) もっと重みを考えた尊重した内容で回答してほしい。

(以下、池田栗田班)

・地域のマニフェストをつくって実行しようとしている。

・地域には地域福祉計画もある。地域に残ってもらうための活動もしているが、今後は計画をアクションプランにして実践していくつもりだ。

・区全体でビジョンを考える。ただ9月までに地域ビジョンをまとめられないかもしれない。

#### □メンバー構成

・いろいろな世代がほしい(滝沢宮越班)

・今後の地域ビジョン作りに今の役員構成で良いと思いますか。(幅広い世代・女性の参画などがあるか) ○1/6 (以下、江口宮川班)

・○クォーター制とかガバナンスとか何を言っているのか。女性や若い者は出てこない

○12名中2名が残っただけで10名は新人だが高齢者が増え課題も多いが不活発である。一生懸命さが見えない。最近は少しは自主審議もやる題材が出てきた。

(高士)

○発言する方は限られている。

・(大 島) 女性の委員は半分くらいいたほうがよい、若い人の意力がない。町内会長協議会とのダブる委員がいる。まちづくり振興会に移行してもよいのでは。

・やり手がない現状を多く聞かれた。特に若い人がなりたがらない。(以下、池田単独)

・仕事を持っている若者には負担が大きい。13区と15区では事情が異なる。

・5年、10年先を見て若い世代へ引き継ぎたい。

・クォーター制の導入を、女性を1/3と定めては。

#### □メンバーのスキルなどについて

○地域協議会の委員の理解度での格差がある(八千浦)(江口宮川班)

・ほとんどの委員が70代で、スキルアップを求めても無理。(池田栗田班)

#### □報酬・費用弁償について

・活動時間に見合った費用弁償が必要だ

・しい地域協議会議員は視察研修も行い無報酬でない有償であっても良いのではないのでしょうか。○が6/6(江口宮川班)

・(頸 城) 現在の1200円の費用弁償でいつまでやるのか。これでは誰も手を挙げないため公募公選制が崩れるのではないか。(高山橋爪班)

・(柿崎) 市は動かない。地域協議会に権限がないため、手をあげる人がいない。報酬もないし、研修費用も出ないのはいかがなものか。

・費用弁償については、求める意見とお金のことは言わないとの意見がそれぞれであった。中には市議会議員との格差に不満を持つ意見も。(池田単独)

・若い人たちで報酬をほしいという人はいないが、タブレットくらいは必要ではないか。(池田栗田班)

・無報酬ボランティア、現費用弁償額では意欲が下がる。発展性もなく、このままでは続かない。(池田栗田班)

#### □公募公選制について

- ・公選制は誇るべき点、残すべきだ（滝沢宮越班）
- ・公募公選制がベターな方法ですか（ほとんど公選がない・偏った人材でないか）

○が 5/6（以下、江口宮川班）

- 公募公選があるから委員が自覚をもって出てくるのであり両方が必要
- ・公選での公約に責任を感じる。（池田単独）

#### □町内会との関係性

- ・町内会は地域分権そのもの（滝沢宮越班）
- ・町内会（協議会）メンバーと地域協議会メンバーをほぼ同じにすることもよい（〃）

・町内会と地域協議会の情報のやり取りは大事だ（滝沢宮越班）

・町内会には予算執行する能力はあるが、地域協議会にはない（〃）

・地域協議会は町内会組織・住民組織・各種団体との交流や意見交換会をしてると思いますか。○が 4/6（江口宮川班）

・まちづくり振興会との関係を重視しているが地域協議会と混同しないよう留意している。また、町内会長連絡会との意見交換を進めているとの意見も聞かれた。（池田単独）

・他の団体とのつながりが不足している。（池田単独）

#### □地域の人たちとの連携について

○若い人との意見交換会が重要である（以下、江口宮川班）

○地域協議会の立場が地区の人には浸透していない（保倉）

・保倉区は地域協議会が地域に浸透していない。町内会長が少なく、単独で物事が進みづらく地元との連携が大変。（宮川単独）

・（安 塚） 地域協議会の課題は、区民（住民）の意見をよく聞いて市へ申請することだと思う。現状は区民（住民）の意見をよく聞けていないと思う。（高山橋爪班）

（以下、池田栗田班）

・少子化の影響かもしれないが、青年団もなくなり、婦人会もなくなった。地域

で人を育てる仕組みがなくなり、リーダーが不在である。強力なリーダーをつくる仕組みが必要である。

・世代交代には準備が必要だ。目先にとらわれず、5年後を見据えた地域づくりの提言が必要だと思う。

・地域の強み弱みを考えていくためにも地域自治区制は必要である。

ただ、若手には地域自治区や地域協議会はなじみがない。

#### □総合事務所について

・(大島)総合事務所に意見をあげても上にあがらない。事務所で抑えてしまう。

(高山橋爪班)

・地域協議会は総合事務所(行政)に対し拘束力を持っていると考えている。極めて少数(1名)(池田単独)

#### □議会との関係について

・地域協議会と議会の連携をすべきだ(滝沢宮越班)

・(頸城)13区が合併する際に市議会が相談にのり、成り立ってきた。権利についてはH19年1の都市分権、調査研究で明確になっている。(Q&Aで町内会長協議会とは違うと書いてある。)

協議会委員が13区の住民の皆さんの声を聞くんだ、という理念に戻って欲しい。旧上越市は機能していないのではないかと見える。(議員だより?架け橋?でお知らせして欲しい)

地方自治法に基づき、改めるところは改め振り出しに戻ることが必要ではないか。(高山橋爪班)

・頸北斎場の問題を例に全議員との意見交換が必要であったのでは。(池田単独)

#### □13区と15区の地域協議会の違いについて

・そもそも出自から13区と15区の地域協議会は別物(滝沢宮越班)

・15区の地域協議会は「新人」でスタートさせられた(〃)

・13区と15区では地域協議会の成り立ちが違う。まず学者の提言がされた検証をすべき。(宮川単独)

#### □情報／広報活動について

・地域の住民に地域協議会の活動をもっと知ってもらわなくてはいけない。みんな知らない(滝沢宮越班)

#### □まちづくりセンターについて

・まちづくりセンターのパワーアップが必要だ(滝沢宮越班)

(備考)

池田委員 所感

以上Dグループを含め全体的な感想

- ・地域協議会において各区が必ずしも共通した課題に向かっていないことが分かった。
- ・地域にリーダーがいるか、いないかによって地域の課題解決に向けた取り組みに大きな違いを感じた。
- ・共通したことは、他の組織との協調に向けた思いほどの区にも共通と感じた。
- ・地域振興やまちづくりを市長の諮問機関である地域協議会にゆだねることが適当か慎重な議論が必要と考える。
- ・合併13区と合併前上越市15区は、自治区としてのスタートの違いがあり、これを埋めることはできないと感じた。
- ・地域独自予算においても13区は時間をかければ地域計画作成は可能と思うが、15区は昭和30年代の合併と、その後の高田市・直江津市の合併50年の経過の中で15区の独自性が希薄になっている中で地域計画作成は難しいのでは。